

麻生区区民会議 安全・安心のまちづくり部会 検討経過報告

審議テーマ「大地震から助かる命を守る」

3つの最優先テーマ

死者数を0にすることを目標に、区民による主体的な取り組みにつなげる（火災死者26人→0人 建物倒壊死者16人→0人「川崎市地震被害想定報告書（平成25年3月）」からそれぞれの死者数の最大値を引用）

- 1 家屋の倒壊防止
- 2 家具の転倒防止
- 3 火災予防・火事発生への対応

モデル事業

2つの優先テーマ

- 4 災害時に救援・援護を必要とする方々への対応
- 5 負傷者または生き埋め者の救助となった方々の一刻も早い救助、手当、安全な場所への収容

< モデル事業の取り組み >

① モデル事業の目的

- ◆ 「大地震で助かる命を守る」に向けて、地震防災対策に関する区民の主体的な取り組みを促進する

② モデル事業の内容

- ◆ 区内の住戸を選定し、明治大学建築学科及び建築技術者グループが家屋の地震安全性などを確認、家具の転倒防止対策を中心とした防災に向けた対応を実施する
- ◆ 家屋の倒壊防止、家具の転倒防止、火災予防・火事発生への対応の観点から実施すべき対策を提案するとともに、特に家具の転倒防止に関しては実際に家具の固定工事や移動など必要な地震安全対策を実施する
- ◆ 実施前後の住まい手の意識・認識の変化を含め、モデル事業の評価・検証を行い、対策の普及に関する問題点や課題を把握して、今後の対応策の検討に役立てる

③ 広報・周知

- ◆ モデル事業の実施結果やそこから得られた成果を取りまとめ、普及・啓発に活かすためのツールを作成し、区民への普及啓発を通じて地震防災対策に関する取り組みの促進につなげ、死者数「0」を目指す



< モデル事業の実施経過 >

活動計画・実施体制の検討(4~8月)

- 募集方法:地域メディア等による公募、委員による個別発掘
- 実施体制:明治大学園田教授による監修、学生の協力
- 事業内容:家屋の転倒防止対策を中心に実施
- 記録・評価・検証内容:普及・啓発のための紙媒体・DVD等作成のための記録、対象世帯にアンケートを実施

モデル対象地区の募集・決定(6~9月)

- マンションは1グループ、戸建ては1戸から再募集し決定

最終的にマンション6戸、戸建て11戸(2世帯住宅2戸含む)

実施内容の決定(9月)

- 作戦会議の開催(9月17日)
モデル事業の実務的内容を検討
参加者:園田教授、建築技術者、市民活動者、区民会議委員

【主な決定内容】

- 全体スケジュール:プレモデル実施→説明会→本格実施
- 戸別スケジュール:事前調査→準備→工事
- 実施体制 :建築技術者、市民活動者、学生、区民会議委員の4~5名のグループ
- 施工の範囲:「命を守る」ことに必要な工事を行うことを前提とし、部屋や工事箇所数は限定しない。
- 工法の選択:区民が自ら取り組めるよう普及・啓発するため、技術的・工学的な合理性、材料の入手が容易、施工が容易、経済性により決定する。
- 金具類の選択:小さい電化製品等は工事の対象とせず、世帯が自分でできるような方法を教える。1戸あたり1万円が目安。市民活動者・建築技術者が調達する。
- 家屋の倒壊防止・火災予防等に関する情報提供
:市が発行する耐震診断のパンフレット等を活用する。
- 対象世帯の要望への対応
:事前調査時に金具サンプルを用いた説明をし、固定する家具類・移動場所・工法などの要望も把握。希望しない部屋は工事を実施しない。
- 撮影 :区民会議委員が映像や写真を撮影する。

プレモデル実施(10月)

- 事前調査(10月11日)
戸建て、マンション1戸ずつを現地調査
参加者:園田教授、学生、建築技術者、市民活動者、区民会議委員
- 工事(10月23~24日)
戸建て10箇所、マンション9箇所の工事を実施
参加者:建築技術者、市民活動者、学生、区民会議委員

【主な確認事項】

- 所要時間:事前調査2時間、工事4時間
- 「この棚が倒れたら」と考えてもらうことがきっかけで、防災の意識啓発につなげることができる
- 工事の箇所・方法を各戸と調整することを通し、現在、将来のライフスタイルの変化による住まい方を考えてもらう
- 簡単な工事を「自分でもできそうだ」と思ってもらうことから、地域に広げる発信源になってくれることを期待できる
- マンションは工事の際、管理組合・建物施工業者と調整の必要がある

対象世帯説明会の開催(10月28日)

- 対象世帯14戸が出席(欠席者あて資料送付・説明)
参加者:建築技術者、市民活動者、区民会議委員
- ・ 事業趣旨、スケジュール、事前調査・工事の内容(金具サンプルを使用)、協力事項(撮影、立会い、家具上の物品整理)などを説明
 - ・ 建築技術者から施工方法の紹介、市民活動者から経験談の紹介
 - ・ 正式な申込みのための申込書兼同意書の提出
 - ・ 事前調査・工事の日時希望調査

< 今後の取り組み >

モデル事業の実施(11~12月)

- ・ 各戸の希望に合わせ、事前調査を実施
- ・ 各戸の工事実施計画を作成
- ・ 工事の実施、作業記録
- ・ 住まい手の意識変化を把握するための対象者アンケート実施

モデル事業の結果・評価(12~1月)

- ・ 実施状況の記録を整理
- ・ モデル事業の成果を踏まえた普及・啓発資料を検討
- ・ 対象者アンケートの感想・意見や要望等を把握、事業促進に向けた評価・今後の対応に活用する
- ・ 事業の促進に向けた課題等の検証等を行い、課題解決策等の検討を行う など

提言書の取りまとめ(1月~)

- ・ 普及・啓発資料案の作成
- ・ 防災対策の推進に向けた提言を整理・取りまとめる
(市民に向けた広報・意識向上及び対策促進のアイデアなど)

